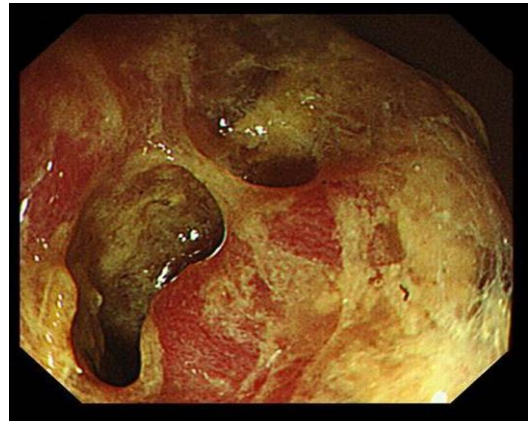
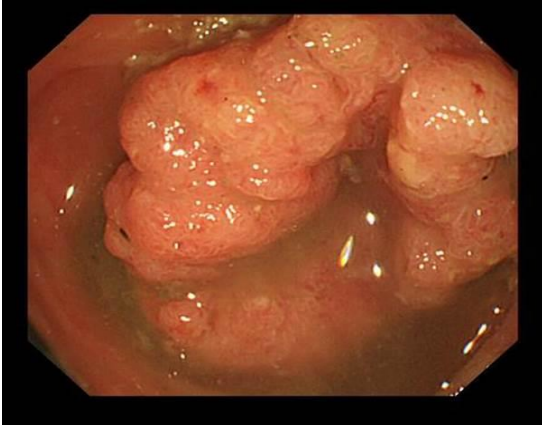


陰性でも安心？ できない！



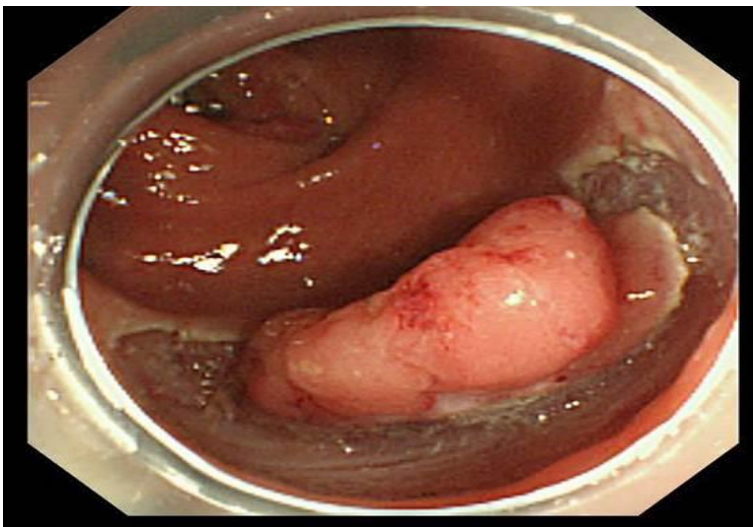
↑これは便潜血陰性で「**腸閉塞**寸前の進行ガン」が見つかった例です↑

腸閉塞とは... 体内は口から肛門まで一本の管」になっています。特に細く長い部分の小腸や大腸に食べた物などがつまって腹痛や吐き気をともなう症状です

皆さんが行っている「大腸がん検診（便潜血）」は“1割の進行ガン・4割の早期ガン”が実は見逃されており、上記の写真例のように『**腸閉塞寸前**の状態』の進行ガンでも便潜血反応が陽性とならないケースがあるのです。

当院（耳原総合病院）では3年前からかなり細い（9ミリ）大腸内視鏡を全国的に最も早く導入し、『**痛くない大腸内視鏡**』をみなさまに提供し喜んで頂いております。

「大腸がん検診（便潜血）」陰性でも、下痢・便秘を繰り返す。便が細い、真っ黒い…などの症状がある方には、ぜひ一度ご相談の上検査を受けてみてください。



耳原総合病院 外科 平林邦明



↑～便潜血陰性で見つかった早期がん～↑

このレベルではお腹を切らずに
内視鏡で切除する事ができます